

# 伊勢茶新施設で初市

## JA全農みえ 最高値5万5500円

三重県鈴鹿市のJA全農みえ茶センターは25日、2025年産「伊勢茶」の初取引を行った。今月から稼働を始めたセンターでは初めての取引。最高値は度会町の畑中製茶で、1<sup>キ</sup>当たり5万5500円だった。平均単価は、同9036円。場内には取引成立を告げる「手締め」の音が響いた。

全農みえ茶センターは鈴鹿市と大台町にあ

ったセンターを一つに再編し、集荷や販売の効率化を図る。高速道路のインターチェンジに近い立地のため、広域からの集荷・販売も見込む。

初取引には、鈴鹿市

には、生産者や茶商、

初取引のセレモニー

県内JAの担当者ら60人ほどが集まった。

全農みえ農産部の大瀬憲一郎長は「近年、茶のインバウンド（訪日外国人）需要が高まっている。4月に稼働を始めたセンターを新たな流通の拠点として、茶のさらなる価格形成と伊勢茶の振興を



交渉成立の「手締め」をする仲立人ら

（25日、三重県鈴鹿市で）

目指す」と意気込んだ。

（小室駿）